

Press Release

令和 6（2024）年 4 月 16 日

持続可能な脳と体の健康づくりを目指すため、 健康アプリ×健康ポイントを導入します

10 月導入に先立ち、株式会社ベスプラと海南市が「共同研究に関する協定」を締結します。

海南市は、令和 6 年 4 月 26 日（金）午前 10 時より、海南市役所 4 階 会議室 4 A にて、株式会社ベスプラ（東京都渋谷区）と「共同研究に関する協定」を締結し、健康アプリ（中高齢者向けヘルスケアアプリ「脳にいいアプリ」）の活用による、年齢や体力に応じた運動、食事、社会参加の促進を図り、持続可能な脳と体の健康づくりに取り組みます。

本アプリの活用は、健康管理が必要な 40 代以上の市民を対象としており、「歩く」「脳トレ」「食事」「社会参加」などのメニューの達成状況に応じて日常の買い物に使用できる健康ポイントを付与し、健康習慣や認知症予防の定着を促進します。現在、東京都八王子市や渋谷区、越谷市をはじめとした 12 自治体で活用されており、近畿圏では初導入となります。

協定締結後は、システム設計に係る調整や市民への周知をはじめ、ポイントが利用できる店舗の開拓など、10 月の制度導入に向けた準備を進めます。株式会社ベスプラ様からは本アプリサービスの提供をはじめ、本アプリを通じて抽出したデータ分析などのサポート協力もいただく予定です。

高い高齢化率となっている本市の課題

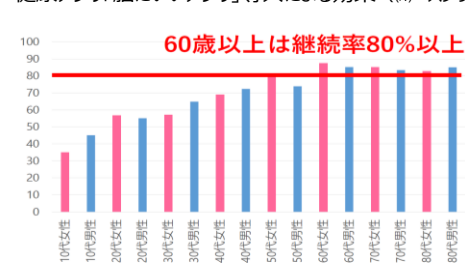
本市の高齢化率は 37.7%と、全国・和歌山県（全国 29.1% R5.9 / 和歌山県 33.3% R5.1）より高い水準で推移しています（R5.9）。後期高齢者（75 歳以上）は団塊の世代すべてが 75 歳以上になる令和 7 年まで増加し、高齢化率は令和 17 年には 42.2%まで増加する見込み（第 9 介護保険計画将来推計）となっており、さらなる介護予防・フレイル予防の取り組みの充実が必要となっています。

また、市民の身体活動量の低下や、がん検診受診率の伸び悩みのほか、健康づくりの啓発や講座、体操教室などの従来型の健康づくり・介護予防の取り組みにおいて、参加者が固定化するなどの課題があります。

健康アプリ×健康ポイント制度の導入により期待される効果

各健康習慣を行うことへの健康ポイントの付与は、利用者のモチベーションを高めることができるとともに、利用者の活動や進捗をポイントという数値で可視化することで、市民の健康管理の支援に役立ち、健康に関心が薄い層への効果的なアプローチも期待できます。また、導入自治体では、認知機能や平均歩行速度の向上が確認されているほか、介護予防活動に関心が低い男性の参加率も増加しています。

健康アプリ「脳にいいアプリ」導入による効果（※ベスプラ調べ）



本協定は、高い高齢化率となっている本市において持続可能な脳と体の健康づくりを目指すうえで、重要な取り組みとなります。本アプリの活用促進を図るためにも、ぜひ多くの方々に知っていただきたく、株式会社ベスプラ（東京都渋谷区）との「共同研究に関する協定」締結をご取材くださいますよう、よろしくお願いいたします。

本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南市くらし部健康課（担当：木下）
〒642-0002 和歌山県海南市南赤坂 11
TEL：073-483-8441 FAX：073-483-8429
E-mail: kenko@city.kainan.lg.jp

リリース配信元

海南市総務部シティプロモーション課
〒642-8501 和歌山県海南市南赤坂 11
TEL：073-483-8408 FAX：073-482-0099
E-mail: cp@city.kainan.lg.jp